

現行出題基準

物質の構造と性質

A 化学構造、B 化学反応性、C 物理化学的性質、D 構造解析法、E 分離・精製法、F 定性・定量分析、G 物理的診断法の原理

天然医薬資源

A 生薬及び漢方薬、B 天然物由来の医薬品

生体の構造と機能

A 生体成分の構造と性質、B 生体成分の代謝、C 器官の構造と機能、D 細胞の構造と機能、E 情報伝達、F 免疫

医薬品の作用

A 薬物の作用機序、B 末梢神経系及びその効果器に作用する薬物、C 中枢神経系、D 免疫系、E 抗アレルギー薬、F 抗炎症薬、G 心臓血管系、H 呼吸器系、I 消化器系、J 泌尿器系、K 生殖器系、L 血液・造血器官、M 眼、N 皮膚、O 内分泌・代謝系、P 病原生物、Q 抗悪性腫瘍薬、R 診断用薬、S 薬効薬理と一般薬理、T 医薬品の安全性

医薬品の体内動態

A 薬物動態と変更要因、B 薬物動態の解析と投与計画

疾病と病態

A 診療録と臨床検査、B 疾病と病態生理学・病態生化学、C 疾病と薬物選択

製剤の調製と医薬品の品質管理

A 製剤の基礎的な特性、B 製剤の性状、製法と試験

薬剤師業務

A 医療の安全管理、B チーム医療、C 臨床試験、D 処方せんの鑑査、E 疑義照会、F 一般調剤業務、G 注射剤・輸液の調剤、H 服薬指導、I 医薬品情報、J 医薬品の管理

健康

A 栄養と健康、B 社会・集団と健康、C 疾病の予防

環境

A 化学物質の生体への影響、B 生活環境と健康

法・倫理・責任

A 法規、B 倫理、C 責任

制度

A 医療制度、B 医療と経済、C 医薬品開発、D 血液供給体制

薬事関係法規

A 薬剤師法、B 薬事法、C 医薬品医療機器総合機構法、D 麻薬等の取締法、E 毒物及び劇物取締法

医事関係法規

A 医療法、B 医師法・歯科医師法、C 保健師助産師看護師法

医療保険関係法規

A 健康保険法、B 国民健康保険法、C 老人保健法、D 介護保険法

薬学教育モデル・コアカリキュラム

ヒューマンズム

①生と死、②医療の担い手としてのこころ構え、③信頼関係の確立を目指して

イントロダクション

①薬学への招待、②早期体験学習

C1 物質の物理的性質

物質の構造・状態・変化

C2 化学物質の分析

化学平衡、化学物質の検出と定量、分析技術の臨床応用

C3 生体分子の姿・かたちをとらえる

生体分子を解析する手法、生体分子の立体構造と相互作用

C4 化学物質の性質と反応

化学物質の基本的性質、有機化合物の骨格、官能基、化学物質の構造決定

C5 ターゲット分子の合成

官能基の導入・変換、複雑な化合物の合成

C6 生体分子・医薬品を化学で理解する

生体分子のコアとパーツ、医薬品のコアとパーツ

C7 自然が生み出す薬物

薬になる動植物、薬の宝庫としての天然物、現代医療の中の生薬・漢方薬

C8 生命体の成り立ち

ヒトの成り立ち、生命体の基本単位としての細胞、生体の機能調節、小さな生き物たち

C9 生命をミクロに理解する

細胞を構成する分子、生命情報を担う遺伝子、生命活動を担うタンパク質、生体エネルギー、生理活性分子とシグナル分子、遺伝子を操作する

C10 生体防御

身体をまもる、免疫系の破綻、免疫系の応用、感染症にかかる

C11 健康

栄養と健康、社会と集団と健康、疾病の予防

C12 環境

化学物質の生体への影響、生活環境と健康

C13 薬の効くプロセス

薬の作用と生体内運命、薬の効き方、薬物の臓器への到達と消失、薬物動態の解析

C14 薬物治療

体の変化を知る、疾患と薬物治療(心臓、腎臓、精神等)、病原微生物・悪性新生物と戦う

C15 薬物治療に役立つ情報

医薬品情報、患者情報、テーラーメイド薬物治療を目指して

C16 製剤化のサイエンス

製剤材料の性質、剤形をつくる、DDS(薬物送達システム)

C17 医薬品の開発と生産

医薬品開発と生産のながれ、リード化合物の創製と最適化、バイオ医薬品とゲノム情報、治験、バイオスタティクス

C18 薬学と社会

薬剤師を取り巻く法律と制度、社会保障制度と薬剤経済、コミュニティーファーマシー

I 実務実習事前学習、II 病院実習、III 薬局実習 実務実習

基礎薬学

医療薬学

衛生薬学

薬事関係法規及び薬事関係制度

物理系薬学を学ぶ

化学系薬学を学ぶ

生物系薬学を学ぶ

健康と環境

薬と疾病

医薬品をつくる

社会と薬学